

## 各部報告

### 子育て支援部

今年も2月から子育てサロンを開始しました。昨年は徐々に参加者が増えてきたので、今年はさらに大勢の参加を期待していました。ところが連日の厳しい寒さのためか参加者は5日は3組、19日は4組と少なかったです。しかし参加したお子さん達が元気に走り回ったり、玩具で遊んでいる様子に私たちボランティアは元気をもらいました。また後半のリズム遊びやパネルシアターなど親子で楽しそうに遊んでいる様子にもホッとさせられています。新しい玩具「森の汽車ポッポ押し車」も2台となり歩き始めたお子さんが早速押して遊んでいました。これからは寒さも和らぎ暖かくなってきました。多くの人の参加で一層賑やかなサロンになることを願っています。



(後藤 信廣)

### ボランティアセンター

用海ボランティアセンターでは、毎月用海公民館は第一月曜日、東口集合所は第二木曜日にいきいきサロンを開催しています。サロンでは、季節の折り紙やぬり絵、クイズ等毎回趣向を凝らして、皆さんに喜んで頂ける様、皆で知恵を出し合っています。

最近では、どちらも20〜30名程の方が参加して下さっています。楽しいおしゃべりをしながらのコーヒータ임、そして最後に歌をうたって終わります。帰られる時に「楽しかった」と言ってお下さる事がなによりのご褒美です。

他にも、足を骨折された方のゴミ捨て、買い物。目の不自由な方のコープの注文のお手伝い。用海小学校の福祉学習、車イス体験やアイマスク体験の手伝い等をしております。

### 食事部

毎週月曜日の午前中、用海公民館で電話当番をしています。身近な相談事や、世間話等に立寄って、おしゃべりに来て下さいます。お待ちしております。

(恒川 千恵子)

20年ぶりに食事作りのお仲間に入れていただき、新鮮な気持ちで今年からお手伝いしています。

手作り出きる物の制限はありますが、ていねいにダシをとつた具、たくさんのおみそ汁や、手作りのデザート。献立は、一ヶ月ごとに考えられています。

食事会で、お友達とのお喋りと食事。そして歌って心もお腹もいっぱいになって帰られる時の皆さんの「おいしかったよ。ありがとう」の声は、私達の励みと次も頑張ろうにつながります。

帰ってからの心地よい疲れも来て下さった皆さんの笑顔があつてこそ。これからも、たくさんの方に出会えることを楽しみに頑張ります。

(中村 三千代)

### 編集後記

今年度最終の「たうん」となりました。3回に分けて地区社協の1年間をお届けしました。

各事業を通して感じることは、参加して下さる方と手伝って下さる方、双方の「共に楽しみながら」のつながりがあつてこそだと思っています。

次年度も「つながり合える町」を目指して計画していきます。ご参加、お手伝いをお待ちしています。編集部も楽しい紙面をお届けできるよう努めていきます。

(大江 久子)

### 用海地区社会福祉協議会 令和7年総会のお知らせ

日時 令和7年5月11日(日)  
午後1時30分  
場所 西宮市総合福祉センター  
別館2階 大集会室

※関係者には、後日案内させていただきます。

No. 108

用海福祉だより

# たうん

発行者 用海地区社会福祉協議会

発行日 令和7年3月31日

### ひとり暮らしふれあい交流会

## 【新春のつどい開催】

2月も目前の1月26日、暖かな日曜日の午後、西宮市総合福祉センター別館2階にて、「歳末たすけあい募金」の配分事業による「第18回ひとり暮らしふれあい交流会 新春のつどい」を開催しました。  
主催者あいさつ、来賓紹介、井ノ元用海地区団体協議会会長あいさつ、民生・児童委員の紹介のあと、にぎやかに会食が始まりました。  
第2部では、高齢者あしん窓口今津南の山中所長と林さんの進行で参加者全員で懐かしの曲を合唱し、楽しいひと時を過ごしました。

### 各町からの感想

◆今年も元気に参加出来て、楽しいおしゃべりに花を咲かせたり、美味しい昼食もすっかりいただいて、又なつかしい歌も声を出してたくさん歌えて、楽しい時間を過ごせました。

初めての参加の方も、少し不安もありましたが、すっかりなじめて、とても楽しく嬉しかったそうです。昨年よりも、参加者が少し減りましたが皆さんの元気なお顔に出逢て良かったです。

◆いつも楽しい集いを準備して下さっている関係者の皆様ありがとうございました。(池田町参加者)  
◆1月26日総合福祉センターでの「ひとり暮らしふれあい交流会」に昨年に続き2度目の参加

をさせて頂きました。

地区の行事になかなか参加できずに過ぎて来ましたが皆様とおいしい食事をいただいたり、懐かしい歌を唄ったりとても楽しい時間でした。

また社会福祉協議会の方や民生委員の方のご活躍も知ることができとても良い機会になりました。楽しい会を企画して準備もして頂きました皆様本当にありがとうございます。

(松原町 南坂 美千代)

◆今年も独居老人の集いに自治会として出席させて頂きました。いつも感心しますのは、市社協の方と多くのスタッフが各自の役割分担の調整が良く出来て



いて、且つ楽しく行動が出来ている事です。その気持がながつて長寿の方々も楽しく時間を過ごされたのだらうと思います。

まだコロナやインフルエンザの影響も残ってなかなか従来の方式での行事の履行が難しいですが、心の輪が広がっていつてより多くの参加者が集う会になればと思っています。

また来年も多くの

方々に会えます様に私も力を得ましたので、頑張りたいと思います。(与古道町 毛利 昭則)  
◆現役を引退してからは家にこもらず、外に出る、人々との会話を交す事が大切だと云われ乍らも、ついおっくうになって、人々の会話が疎遠になりがちでした。民生委員の方の呼び掛けで初めて参加しましたが、沢山の方々との対話やカラオケ等楽しい一日となりました。

何か暮しが広がるきっかけとなったように思います。私も九十二才を過ぎましたが毎日囲碁

を楽しんでいます。西宮市老人クラブで毎年5、6、7月に初めての方を対象に囲基教室を開いています。未知の世界へチャレンジしてみたいかがですか。

（梁殿町 田中 積）

◆今回は初めて参加させていただきました。隣席の方が同じマシンの方とわかり、初めて色々とお話することができ、うれしかったです。なつかしい歌に声を出して歌い、お食事もわずかな費用にもかかわらず、豪華なお弁当をいただけでとても満足でした。

スタッフの方も日曜日でそれぞれにお忙しい中、このような日を設けていただき、感謝しています。ありがとうございます。〔用海町 本田 悦子・岸本 淑子〕  
◆高齢者の一人暮らしの集いに参加しました。その中で石在町19番在住の方は私以外は初めての方達だったので本当に良かったなと思いました。こんな交流の場でもない限りなかなか名前は知っていても顔がわからない。又、その逆もあつたりします。今回お逢いした方は93歳だと言

た。（東町一丁目 宮川 幸子）

◆お昼のお弁当がすごくおいしかったです。これはいい値段するだろう。本当においしい。

歌いたい歌があつた。これも知ってる、あれも知っているととてもうれしそうに歌われてました。

今日は呼んでくれてありがとうございますと笑いながら帰って行かれました。

（東町二丁目 井上 奈津子 代筆）

◆浜松原町は開始直前になつても出席予定者がそろわず、連絡がなかったり、窓口への申込みなしでの参加もあつたりしました。合計人数は結果として同数となり、ヒヤヒヤしました。

セレモニーのあとは、ワキあいあいでお弁当を食べ談笑しました。そのあと歌のつどいでは、あらかじめ選曲されていた10曲を進行役の山中所長が、それぞれの曲についての思い出話を紹介されおもしろかったです。林保健士さんとの世代の違いもまじえながら…。スタッフ、裏方のみなさん、ありがとうございます。（浜松原町 佐藤 真澄）

## 子どもと地域住民で学ぶ 福祉学習

福祉学習は様々な福祉体験や学びをとおして、自分たちの暮らし地域の課題に気づき自分たちにできることを考えることで、自分たちが暮らし地域や人々に関心を持つことができる機会づくりです。

市社協では平成22年から学校中心で実施していた福祉教育を、地域の中で保護者や地域の人たちと共に学ぶ『福祉学習』へと転換しました。保護者や地域のひとと共に学ぶことで、学校内のバリアフリーを考えるだけでなく、自分たちの暮らし地域の課題に気づくことに広がっていきます。また、関係の希薄化が課題となつている今日、福祉学習をとおして同じ地域に暮らす人たちが繋がるきっかけにもなつていきます。

福祉学習は福祉の種まきです。そこに様々な人たちが繋がりをあいながら展開していきたいと考えています。

（西宮市社会福祉協議会

ボランティアセンター 伊東 佳子）

## 4年生 福祉学習

### 車イス体験



★車いす体験で少しの段差でも大きくゆれることがかわく、車いすの方は不慣れた生活をしているのだらうと感じました。しかし、車いすの方から話を聞くと、買い物で映画を見に行ったり、買

い物を楽しんだりしているそうです。障害のある方も、工夫をすることで私たちと同じように生活していることを知りました。町には段差や坂道などが多くあります。そのような場所で困っている車いすの方がいたら、お手伝いをしたいと思いました。

★私は、車いす体験を通して、いつも軽々飛びこえていた段差も車いすでは大きな段差だと感じ、自分の意志で自由に行動できることが素晴らしいことだと知りました。私達がこれからすべきことは、障害のある無しに

関わらず誰もが自由を持てる社会を作っていくということです。相手によりよい、自由を共有するためには、思いやりの心が必要です。これから、多くの人の出会いを通して、思いやりの心を育てていきたいです。

★わたしは車いす体験をしてみて今回は人がおしたのでらくだなと思つていただけ、ほんらいは自分で動かすので大変だなと思ひました。思つたとおりにごかなくて、かべにすつたりしたのでむずかしかったです。だん差があるときに足でもちあげるところがあるなんて知らなくてびっくりしました。わたしも車いすの人の気持ちになつてみたので、少しはその人たちのやうにたつてみたいです。

★私が、車イス体験をしてみて思つたのは、少しのだん差でも大きくゆれた事です。そして、車イスに乗る人はもちろん大変ですが、車イスを動かす人がどれだけだん差や、まがりかどに気をつけているかを、実かん出来ました。車イスを使う事で、体の不自由な方でも楽しく幸せ

に生活出来るのだとあらためて、かんじました。こわい思いをしながらも、生きる事は大切だと知った。

### 白杖・アイマスク体験



★アイマスク体験では、いつも通っている道なのに、どこを通つてい

るかかわらず、とてもこわかったです。だから、ガイドをする時には、相手の気持ちになつてガイドをすることを意識して声かけをしました。これから、道で目の不自由な方をみかけたら、今回の経験をいかして声をかけてみようと思います。相手の立場に立つてガイドし、目の不自由な方が安心して歩けるように手助けしたいです。アイマスク体験は良い経験になりました。

★アイマスク体験は助け合う未来につなげたい体験になりました。アイマスクをすると不安になり、今どうなつていのかに気がなりました。手引きをした

時には、目の不自由な人がケガをしないか考えました。

最後にお話を聞いて、目の不自由な人がいたら、少し声のボリュームをさげてからぼくたちの助けが必要かを聞きたいなと、思ひました。

★私は、アイマスク体験をしてみてサポーターする人がさきさき行つてこわかつたけど意外としようがい物にあたらないなです。アイマスクをつけて歩いたら、方向かんかくが失われて不安でした。目が不自由な人は、毎日、不安な思いをしながら、道を歩いていると改めて感じました。★私は、アイマスク体験をしました。はじめに、手引きをして思つたことや感じたことは、アイマスクをしている人に伝わるように、「右・左に曲がりますよ」とか「ジグザク道入りますよ」などを目の前に来た時に言うのがむずかしかったです。次に、アイマスク体験をして思つたことや感じたことは、何も見えないくらいまつくらで、手引きの人の声とさわつた感じだけがたよりだと思ひました。